

大宮グランドセントラルステーション推進会議
(第15回基盤整備推進部会) 主なご意見等

開催日時：平成31年2月22日（金）15:00～17:00

開催場所：大宮区役所 南館 301 会議室

出席者：

| 選出区分 | 役職等 |
|------------------|---|
| 学識経験者 | 埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚 |
| 鉄道事業者 | 東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー |
| 鉄道事業者 | 東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室 企画調整課長（代理） |
| 鉄道事業者 | 東武鉄道 経営企画本部 部長 |
| 鉄道事業者 | 東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長 |
| 鉄道事業者 | 埼玉新都市交通 代表取締役常務 |
| 交通事業者 | 埼玉県乗用自動車協会 会長 |
| 交通事業者 | 東武バスウエスト 運輸統括部 業務課 課長（代理） |
| 交通事業者 | 国際興業 運輸事業部長 |
| 交通事業者 | 西武バス 取締役 運輸計画部長 |
| 関係行政機関 | 埼玉県 企画財政部 交通政策課 主幹（代理） |
| 関係行政機関 | さいたま市 都市局 都心整備部長 |
| デザイン コーディネーター | アーバンデザインセンター大宮 副センター長 |
| オブザーバー | 埼玉県 産業労働部 観光課 主幹 |
| オブザーバー | 都市再生機構(東日本都市再生本部 事業企画部) 事業企画第2課 主幹 |

■ 構想実現案について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 駅やまちを訪れる方は大多数が大宮に住んでいる方だと思う。今後さらにバスバースが必要になる可能性がある中で、現在のバスバース数については保持したいと考えている。
 - ・ タクシープールを地下にしたのは、景観の観点も考えてのことである。また、タクシーが乗客を乗せて出る際に、待機のバスが今のように並んでいると、この道路幅では出られないのではないかと。安全面からも幅員をよく検討して頂きたい。
 - ・ タクシーとしては、高齢者や車椅子の方が直接駅から来て乗車できるよう、車両を新しいものに更新している。バスに乗れない方がタクシーに乗って移動するというのを考慮し、乗りやすい動線を検討していただきたい。
 - ・ 南地区のエリアの一般車乗降場は中山道から出入りするようになっていて、右折での出入りはできないのか。信号を新設しない限り左折のみの出入りになると思うがどのようにお考えか。
- ⇒ 近接する交差点との距離が短く信号設置は難しいことため、左折のみで出入りする形で検討中である。
- ・ 中山道の交通状態を鑑みると出口で必ず車両が詰まるのではないかと。バスの定時性確保や渋滞が発生しないように確認しながら検討して欲しい。
 - ・ バスバースについて、事業者間で相互利用することでバースを減らせるとすると、歩行者空間を増やせるのではないかと。

■ 道路整備計画の検討状況について

- ・ 大宮岩槻線の4車線化も中山道地下バイパス化も大変な事業になるのは間違いないが、これらの整備ができなければどうになってしまうのかという事実は共有したほうがよいのではないかと。

■ 交通需要マネジメント計画の検討状況について

【⇒事務局からの回答】

- ・ 駅前の地下では一般車の動線とタクシーの動線はどういう関係になるのか。
- ⇒ 一般車とタクシーの動線は分けて計画している。今後、分かりやすい図面を作成し説明する。
- ・ 搬入車の処置についてはどのように考えているのか。
- ⇒ 開発街区に関しては地下車路ネットワークから搬入することを想定している。

- ・道路の整備が難しい場合、交通需要マネジメントの考え方が重要になる。駐車場ルールを見直す必要があるのではないか。形の上だけのFRINGE駐車場を整備してもらうのではなく、例えばヨーロッパのように駅前には駐車場を整備させず、その分を離れた場所に整備させるということをやっていくことも考えられる。駐車場の配置の議論を各街区の方としていく必要が出てくる。
- ・今までは何とか基盤を整備して、通常の開発が成り立つようにやっていくという方向で進めてきたが、基盤整備だけでは様々なハードルがあることがわかってきた。今後是非検討いただきたい。

■ 駅改良計画の検討状況について

- ・今回の改良案で東武鉄道の2面3線化という話が出てきた。交通施策から言うと、安全性の面、乗り換えの利便性を考えると非常によい点がある。ぜひ実現をお願いしたい。
- ・まちづくり推進部会からも駅前の空間が狭いとの意見を頂いており、駅改良計画の中で空間をどのように使っていくことが街区にとっていいのか、考えている。
- ・東武鉄道としては、新たなサービス提供の可能性が広がるということから、百年に一度の整備というこの機会に2面3線の機能増強を目指していきたいと考えている。

■ 事業展開等について

【⇒事務局からの回答】

- ・大規模な工事となるため、公共交通が定刻通りに運行できないといった障害ができるのではないか。駅前広場機能の代替として整備する場所などを考えたほうがよいのではないか。
 - ・区役所跡地を工事のときに暫定活用できるのか。
- ⇒公共施設再編の検討の中で、区役所跡地についてはGCS構想の進捗と合わせて利用を考えていくこととしている。詳細については、今後調整していきたいと考えている。

以上